

編集後記

平成二十一年。専修大学創立一三〇年という記念すべき年に発刊した『専修大学史紀要』もようやく第五号という一つの区切りとなる号を刊行することができた。「三号雑誌」とならずにはっとしている。ひとえに多くの方々のご協力のおかげである。

そして本号では、卒業生や大学院生による論文や史料紹介を掲載することができた。これもまた大きな喜びである。

来年度には創立一三五年を迎える専修大学の長い歴史を紐解くための史料は、学内・学外を問わず膨大にある。教職員だけの力ではそれらの史料を発掘・翻刻・研究することは到底できない。そのためには在学生や卒業生はもちろん、学外の研究者などの様々な立場の方々にまずは関心を持っていただき、研究していただくことが必要である。その第一歩を踏み出すことができたのではないだろうか。

大学史資料課では、『専修大学史紀要』がそうした方々の発表の場となるよう、今後も多くの方々からの投稿をお待ちしている次第である。

(大学史資料課)